

## 景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(令和 8 年 6 月)

### ～中東情勢の影響拡大や天候要因により、現状判断は悪化～

- 景気ウォッチャー調査・6 月調査の近畿地域の結果は、現状判断が 42.3 と前月比で 3 か月ぶりの低下（－1.6 ポイント）となった。好不調の判断の目安となる 50 も 18 か月連続で下回っている。一方、先行き判断は 43.3 と、2 か月連続の上昇（＋3.7 ポイント）となった。
- 足元の景気については、インバウンド関連では中国人客の減少が続く一方、円安の追い風や中国以外からの増加で堅調な推移が続き、百貨店などでは関連売上の増加がみられる。ただし、今年の梅雨や昨年よりも雨が多かったほか、台風が 2 度接近したこともあり、幅広い業種での客足の減少につながっている。
- さらに、中東情勢の変化による影響も様々な形で広がっており、企業や消費者の活動に悪影響を及ぼしている。各種燃料コストの上昇に加え、特にナフサ不足の影響を訴える声は多く、幅広い業種への影響が続いている。
- こうした動きが、かねてからの物価上昇の加速につながろうとしている。結果として、消費者による節約志向もさらに強まっており、スーパーや家電などを中心に幅広い業界で購入量の減少などが指摘されている。
- 景気の先行きについては、足元で堅調な動きが続くインバウンド消費について、今後増勢を維持するとの期待が大きいほか、今夏も猛暑の予想が出される中で、夏物商材の販売増への期待も高まっている。また、AI 関連のけん引によって株価の上昇傾向が続く中、それによる消費面への好影響を期待する声も少なくない。
- 加えて、中東情勢の収束予想が広がる中、足元の悪影響の緩和への期待も高まっており、先行き判断 DI の上昇に一定の寄与がみられる。ただし、この部分については不透明感が強いことも事実であり、今後の情勢次第といえよう。
- 一方、物価やコストの上昇が続くとの見通しから、その影響への懸念は引き続き多い。すでに価格転嫁が難しい状況にある中、中東情勢の影響が遅れて出てくることで、さらなるコストの上昇が利益の圧迫につながるとの懸念は大きい。また、物価の上昇による消費マインドの低下も懸念されるなど、今後の物価上昇による警戒の声は強い。

#### 「中東情勢による商品不足」関連のコメント(現状判断)

|        |           |                         |                                                                                                                                           |
|--------|-----------|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 家計動向関連 | 変わらない     | 一般小売店〔菓子〕<br>(営業担当)     | ・ナフサ不足の影響で各社の値上げが続いているが、商品価格に転換できないまま、時間が過ぎている。                                                                                           |
|        | やや悪くなっている | 家電量販店 (営業担当)            | ・ナフサ不足の影響が始めている。客が相談していた工務店が倒産し、案件の延期につながっている。                                                                                            |
|        |           | 住関連専門店 (店長)             | ・ナフサや原材料の不足で、消耗品なども品薄状態となっている。仮に買えたとしても、かなり値上がりしているため、経費が圧迫されつつある。                                                                        |
|        |           | その他専門店〔ガソリンスタンド〕 (経理担当) | ・ガソリンの出荷量は前年比で微増の動きが続いている。ガソリンについては、石油元売りからの仕入れに支障はない一方、重油などは品薄状態が続き、入手が難しくなっている。ボイラーの燃料を重油から灯油に代えて、工場の操業を続けるケースもみられる。また、ナフサ関連も品不足となっている。 |
|        |           | 通信会社 (経営者)              | ・石油関連製品の入荷の遅れに加え、売上減少や、材料費の上昇で利益が圧迫されている。                                                                                                 |

|        |           |                     |                                                                                                    |
|--------|-----------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 家計     | 悪くなっている   | 一般小売店〔ガラス細工〕（店長）    | ・伝統工芸品の製造と販売を行っているが、工芸品の製造に欠かせない燃料の供給が滞っており、製造ができない状況にある。大手企業の声は届いているのかもしれないが、零細企業に対する政策対応は進んでいない。 |
| 企業動向関連 | 変わらない     | 化学工業（経営者）           | ・ナフサ不足に伴う、大幅な値上げの影響がどの程度出るかは見通せないが、今のところはまだ落ち着いている。                                                |
|        |           | 建設業（経営者）            | ・中東情勢の先がみえず、建設資材価格の高騰や納期の不安定化などの悪影響が続いている。特に資材の納期が不安定となり、竣工が間に合わない作業所も出そうである。                      |
|        | やや悪くなっている | 電気機械器具製造業（経理担当）     | ・A I サーバーの増設に伴う、半導体メモリ関係の急激な値上げや品不足に加え、中東情勢の影響による石油関連の原材料価格の上昇により、市場の動きがかなり悪くなっている。                |
|        |           | その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者） | ・値上げの動きは落ち着いたと考えていたが、中東情勢の影響で石油関連商材が不足するなか、再び価格が上がっている。正常な販売活動が困難となるなど、状況は良くない。                    |
| 雇用     | 変わらない     | 職業安定所（職員）           | ・今月は前年並みで推移しており、物価上昇の影響や商品不足などの声はあるが、今のところは景気への大きな変化はみられない。                                        |

## 「インバウンド」関連のコメント（現状判断）

|        |           |                              |                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------|-----------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 家計動向関連 | やや良くなっている | 百貨店（広報担当）                    | ・複数回の台風の影響を除いて、都心店がおおむね好調となった。国内客の売上が前年比で約1割増となり、免税売上も約3割増となるなど、売上の底上げに寄与している。中国からのインバウンドは依然厳しい状況であるが、中国を含む海外からの富裕層の動きが、円安の影響などで大きく伸びたほか、気温の上昇や梅雨入りによって初夏のファッション商材も順調に動いている。                                                        |
|        |           | 百貨店（売場マネージャー）                | ・インバウンドだけでなく、国内客の動きも改善傾向にある。不透明な経済環境ではあるものの、消費の活性化が見受けられる。                                                                                                                                                                          |
|        |           | 百貨店（売場統括）                    | ・外商を中心とした富裕層の消費は、好調に推移している。さらに、免税売上も中国への依存を脱し、欧米や東南アジアのシェアが拡大した結果、前年比で60%増と大幅に増えている。また、国内の現金客も、年明け以降は売上が2%増と前年を上回っている。                                                                                                              |
|        |           | コンビニ（経営者）                    | ・中国系のキャッシュレス決済の利用が当地域を中心に増えており、インバウンドの増加による影響がみられる。                                                                                                                                                                                 |
|        |           | その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当） | ・前年は大阪・関西万博に多くの客が流れていたが、今年はその反動増がみられる。ただし、中国からの個人のインバウンドは大きく減少しているほか、値上げした鉄道乗車券付きの企画商品は売上が落ちているなど、価格の上昇に敏感な面もみられる。                                                                                                                  |
|        | 変わらない     | 百貨店（企画担当）                    | ・免税売上では、中国からのインバウンドの売上が前年をやや下回っているものの、中国以外の売上が約40%増となっているため、全体としても前年を10%程度上回っている。国内売上についても、直近の大雨の影響は若干あるが、外商、それ以外共に、前年を上回る傾向となっている。                                                                                                 |
|        |           | 百貨店（マネージャー）                  | ・全体的な景況感が変わらず、富裕層向けの特別催事などでは、宝飾や美術等、資産価値のある商材が人気で好調を維持している。一方、前年ほど気温が上がらないなか、国内の中間層は衣料品を中心とした季節商材の買い控えが目立つ。また、食料品も単価上昇の影響で買上点数は減少しているが、選択消費が目立つなかで、売上は維持している。インバウンド需要は地域的な好調もあって大幅に増え、特選品などの一般品を中心に客単価が2倍になった影響で、売上全体の押し上げにつながっている。 |
|        |           | 百貨店（外商担当）                    | ・前年の大阪・関西万博の反動で、来客数は前年を上回って推移している。インバウンドも中国からの観光客が前年比で30%減少しているが、その他の国からの増加で補っており、トータルで前年を上回っている。                                                                                                                                   |
|        |           | 百貨店（商品担当）                    | ・インバウンドの売上は好調であるが、国内客は横ばいである。気温が上がりにくらず、夏物衣料の動きが鈍いなか、セール待ちの状態となっている。食品は好調であるものの、中東情勢によるナフサ価格の高騰で、生活防衛意識が強まっている。ただし、期間限定の催事など、今しか買えない物は好調となるなど、催事や物産展は堅調に推移している。                                                                     |
|        |           | コンビニ（経営者）                    | ・インバウンドがやや減少しているものの、客単価は商品価格の値上げ効果で上昇しているため、売上はほぼ変わっていない。                                                                                                                                                                           |
|        | やや悪くなっている | 一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）              | ・国内客の消費マインドが冷え込んでいるほか、梅雨の影響でインバウンドの来客数も減っている。                                                                                                                                                                                       |
|        |           | 百貨店（宣伝担当）                    | ・ボーナスの支給後にもかかわらず、客の財布のひもが固い。客単価は価格改定の影響で上がっているが、来客数が減っているため、売上が落ちている。インバウンドも買上額が減少しており、買物を控えて、飲食やホテル料金に回している。                                                                                                                       |
|        |           | コンビニ（店長）                     | ・前年は大阪・関西万博の開催でインバウンドが多かったため、その反動が出ている。                                                                                                                                                                                             |
|        |           | コンビニ（店員）                     | ・インバウンドが少し減っている。                                                                                                                                                                                                                    |
|        |           | 都市型ホテル（フロント）                 | ・例年6月はインバウンドの動きが弱く、今年も同様に苦戦しているほか、国内客の動きも鈍化している。                                                                                                                                                                                    |
|        | 悪くなっている   | その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）            | ・インバウンドを含む人の流れは多いが、催事での集客数や通常の来客数は、低迷したまま増えていない。                                                                                                                                                                                    |
| 雇用     | 変わらない     | 経営コンサルタント                    | ・小売業の取引先をみると、コロナ禍の時期に準備を進め、収束後にうまくインバウンドを取り込めている企業は、景気の波に乗れている。具体的には、コロナ禍の時期に外国人の雇用に備えて就業規則などを変更しておき、収束後には外国人従業員に店頭やSNSでの情報発信を任せ、インバウンドの取り込みに成功している。                                                                                |

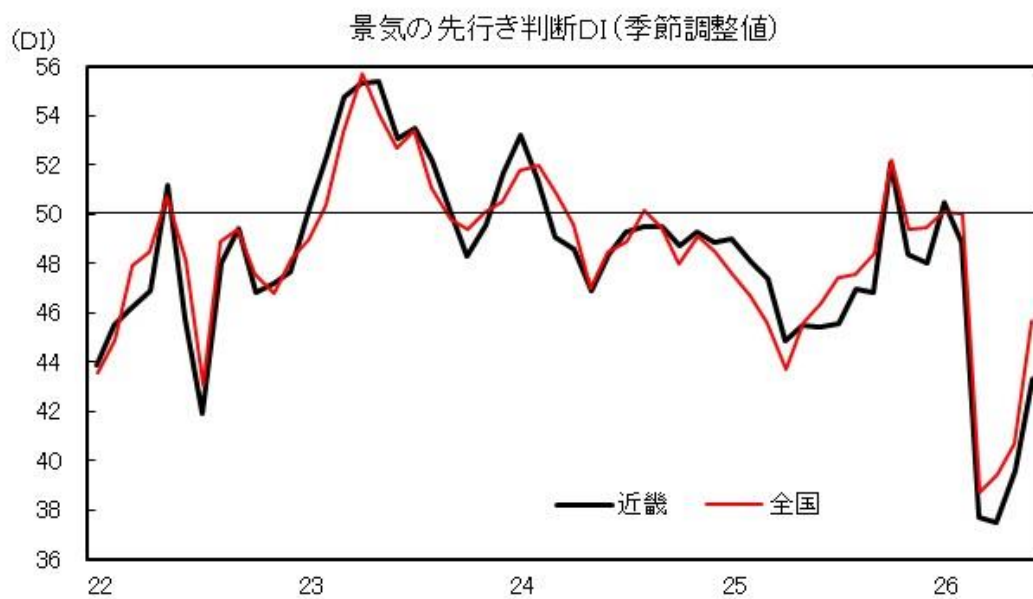
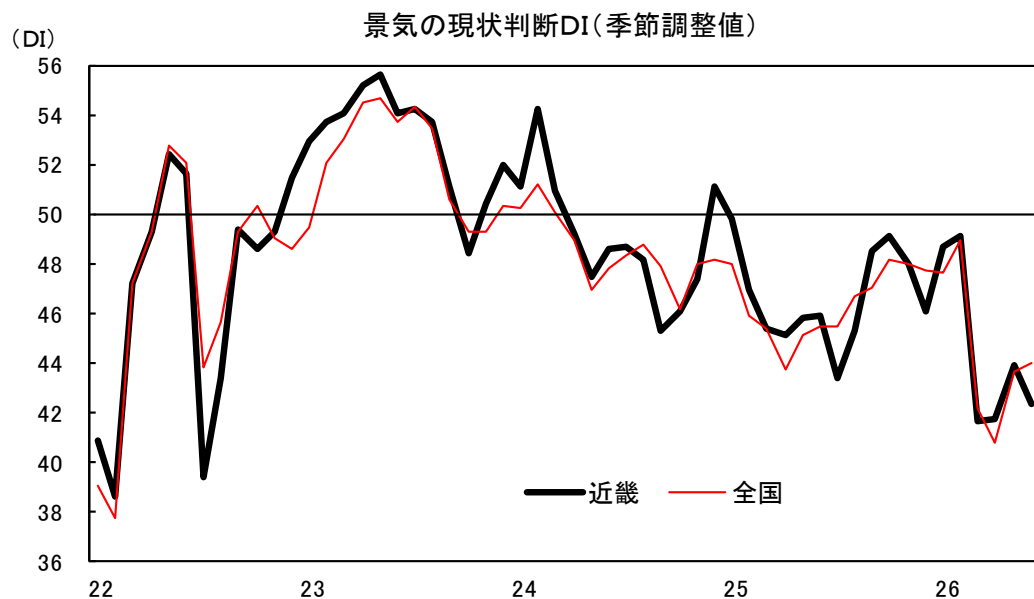
「中東情勢による商品不足」関連のコメント(先行き判断)

|        |        |                      |                                                                                                                                                                        |
|--------|--------|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 家計動向関連 | 変わらない  | 乗用車販売店（経営者）          | ・中東情勢によりエンジンオイルなどが入荷せず、整備関連の収入が減っている。今後の見通しも良くない。                                                                                                                      |
|        |        | 乗用車販売店（役員）           | ・久々の新型モデルの発売に期待しているが、不安定な社会情勢もあり、今後の販売台数は不透明である。また、中東情勢の影響による新車の配車遅延や、エンジンオイル不足によるサービス売上の停滞が懸念される。株価は上昇傾向にあるものの、車の買換え需要の活発化にはつながっておらず、自動車業界として新たな活性化の方向性を示さない限り、現状は続く。 |
|        |        | 一般レストラン（経営者）         | ・当市でプレミアム付商品券の発行が始まり、飲食店での利用につながることを期待したい。ただし、なかなか落ち着かない中東情勢の影響による資材の不安定な供給や仕入価格の改定に加え、警報級の悪天候が続いていることもあり、景気が上向くことは難しい。                                                |
|        | くやなる悪  | 乗用車販売店（経営者）          | ・問屋からオイル類を買うことができなくなっている。                                                                                                                                              |
|        | 悪くなる   | 一般小売店〔衣服〕（経営者）       | ・物価が更に上がり、中東情勢による石油の安定確保も見込めないなかで、景気が良くなることはない。ますます悪くなるという不安だけが大きくなっている。                                                                                               |
| 企業動向関連 | 変わらない  | 住関連専門店（店長）           | ・建築、インテリア業界では原材料不足などで、現場から工事の遅延といった声が出始めている。納品の遅れによって、売上の回収時期も延期となる懸念がある。                                                                                              |
|        |        | パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）   | ・ナフサ由来の製品の供給状況は良くなってきたが、価格が高止まりしているため、ふだんどおりの生産ができない。                                                                                                                  |
|        |        | その他サービス業〔受託調査〕（調査担当） | ・中東情勢の不安が解消されつつあり、原油の輸入が徐々に再開されたが、取引先の話を見ると、ナフサが不足している状況は以前と変わっていない。また、原材料の調達を海外に依存している企業は、今後も価格の高騰が続くと予想される。                                                          |
|        | やや悪くなる | その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）  | ・中東情勢が落ち着き、不足している商材が入り始めたが、値上げの動きが落ち着くまでは、景気が上向くことはない。                                                                                                                 |
|        |        | 金融業（営業担当）            | ・ナフサの問題で仕入れがうまくいっていない企業が多くみられる。在庫はそろそろ底を突くという声も多く、後は景気の悪化が予想される。                                                                                                       |
|        | な悪くなる  | 不動産業（営業担当）           | ・今後の建築資材の不足や値上がりにより、建物の価格がかなり上がる。金利も上がっているなか、客の購入可能な価格帯は決まっているため、結局は建てても売れないなど、景気は悪化に向かう。                                                                              |
| 雇用     | 変わらない  | 通信業（管理担当）            | ・今後は、原油不足の影響が更に大きくなる。                                                                                                                                                  |
|        |        | その他雇用の動向を把握できる者      | ・中東情勢の影響で、原材料が入手困難な状態が続いている。一部の小規模事業所は、この状態が続けば休業を考慮するを得ないが、大企業は原材料が入手できるようになりつつある。中小企業にも、こうした改善の動きが広がるかどうかを注視している。                                                    |
|        | やや悪くなる | 人材派遣会社（管理担当）         | ・中東情勢が落ち着かない限り、更なる物価の上昇や商品の不足により、景気は悪化する。                                                                                                                              |
|        |        | 新聞社〔求人広告〕（担当者）       | ・物価の上昇やナフサ問題の影響が今後も続きそうであり、新聞などメディアへの広告やプロモーションの見込みは、前年比で95％程度への減少が見込まれる。                                                                                              |
|        |        | 学校〔大学〕（就職担当）         | ・中東情勢による原油不足があらゆる資材の供給不足につながっており、影響が拡大している。                                                                                                                            |

「猛暑」関連のコメント(先行き判断)

|        |        |                               |                                                                                                                              |
|--------|--------|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 家計動向関連 | 良くなる   | その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）  | ・国内客については、ガソリン価格の高騰や物価上昇の影響による、レジャーマインドの低下が懸念される。インバウンドでは、燃油サーチャージの上昇や不安定な国際情勢による影響を危惧している。                                  |
|        | やや良くなる | その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者） | ・原油の供給に不安定感があるため、消費マインドは更に低下する。                                                                                              |
|        |        | 一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）             | ・石油問題や物価上昇によって悪化する。                                                                                                          |
|        | 変わらない  | 一般小売店〔雑貨〕（店長）                 | ・原油の輸入量が減少し、買いだめの動きが始まる。                                                                                                     |
|        |        | 住関連専門店（店長）                    | ・輸入業では、原油価格の上昇で、海外輸送費を中心としたコストの増加が予想されるため、販売価格も上がり、更に売りにくくなる状況が続く。                                                           |
|        |        | 遊園地（経営者）                      | ・石油価格や電気代の上昇など、中東情勢の変化による家計への具体的な影響が出始める。                                                                                    |
| 企業動向関連 | 変わらない  | 窯業・土石製品製造業（管理担当）              | ・中東情勢が不透明で、石油製品関連の価格上昇による、更なる物価上昇が懸念される。不安要素が多いなか、2～3か月先の景気はやや悪くなると予想される。                                                    |
|        |        | 電気機械器具製造業（経理担当）               | ・樹脂成型品を始めとする石油関連製品の価格が上昇しているほか、パソコンのメモリ価格が異常に上昇している。A Iの利用拡大でサーバーの増設が相次ぎ、品不足につながっているが、このままでは製品に使用するメモリが入手できなくなり、生産が立ち行かなくなる。 |
|        | やや悪くなる | 金融業（営業担当）                     | ・中東の海峡封鎖の影響で、ナフサ関連の商品の仕入れが難しくなっている。こん包用のビニールシートなどの調達も難しくなっており、納品できないケースも想定されるため、あらゆる業種に影響が出てくる可能性がある。                        |
|        |        | 金融業〔投資運用業〕（代表）                | ・資源、エネルギーの正常な供給に努める必要がある。                                                                                                    |
|        |        | その他サービス業〔受託調査〕（調査担当）          | ・中東情勢の変化により、原油不足は当分続くと予想される。                                                                                                 |
|        |        | その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）             | ・ポリ袋や紙類の値上げに加えて、燃料価格の高騰による仕入コストの中期的な上昇が予想される。また、それに伴う販売単価の引上げで、販売数量の減少も見込まれる。価格転嫁の動きにはタイムラグがあるため、一時的な減益が避けられない。              |

## (D I の推移)



## (近畿地域のDI)

|       |      | 24年  |      |      |      |      |      | 25年  |      |      |      |      |      | 26年  |      |      |      |      |      |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|       |      | 6    | 7    | 8    | 9    | 10   | 11   | 12   | 1    | 2    | 3    | 4    | 5    | 6    | 7    | 8    | 9    | 10   | 11   |
| 現状判断  | 近畿   | 48.6 | 48.7 | 48.2 | 45.3 | 46.1 | 47.4 | 51.1 | 49.8 | 46.9 | 45.4 | 45.1 | 45.8 | 45.9 | 43.4 | 45.3 | 48.5 | 49.1 | 48.0 |
|       | (全国) | 47.8 | 48.3 | 48.8 | 47.9 | 46.2 | 48.0 | 48.2 | 48.0 | 45.9 | 45.4 | 43.7 | 45.1 | 45.5 | 45.5 | 46.7 | 47.0 | 48.2 | 48.0 |
| 先行き判断 | 近畿   | 48.4 | 49.3 | 49.5 | 49.5 | 48.7 | 49.3 | 48.9 | 49.0 | 48.1 | 47.4 | 44.9 | 45.5 | 45.4 | 45.6 | 47.0 | 46.8 | 52.1 | 48.4 |
|       | (全国) | 48.5 | 48.9 | 50.2 | 49.5 | 48.0 | 49.1 | 48.5 | 47.6 | 46.7 | 45.6 | 43.7 | 45.6 | 46.4 | 47.4 | 47.6 | 48.4 | 52.2 | 49.4 |

※季節調整値